

# フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)

第210期 (決算日 2019年10月15日)  
 第211期 (決算日 2019年11月15日)  
 第212期 (決算日 2019年12月16日)  
 第213期 (決算日 2020年1月15日)  
 第214期 (決算日 2020年2月17日)  
 第215期 (決算日 2020年3月16日)

## 運用報告書 (全体版)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)」は2020年3月16日に第215期の決算を行いました。ここに、第210期から第215期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



FRANKLIN  
TEMPLETON

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00~17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<https://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限
運用方針	主としてフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券 (政府抵当金庫パス・スルー証券) 等の米国高格付け証券に実質的な投資を行い、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
主要投資対象	<p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド</p> <p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド</p> <p>主として「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
組入制限	<p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド</p> <p>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド</p> <p>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>毎月15日 (ただし、15日が休業日のときは翌営業日とします。) に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>② 分配金額は、委託者が配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。</p> <p>③ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落		
	円	円	円	%	%	百万円
186期(2017年10月16日)	7,595		13	1.6	98.5	25,872
187期(2017年11月15日)	7,645		13	0.8	98.7	25,604
188期(2017年12月15日)	7,558		13	△1.0	99.0	25,172
189期(2018年1月15日)	7,410		13	△1.8	98.5	24,504
190期(2018年2月15日)	7,035		12	△4.9	98.3	23,352
191期(2018年3月15日)	6,994		12	△0.4	98.7	23,119
192期(2018年4月16日)	7,089		12	1.5	98.8	23,336
193期(2018年5月15日)	7,187		12	1.6	98.5	23,477
194期(2018年6月15日)	7,255		12	1.1	98.6	23,414
195期(2018年7月17日)	7,381		13	1.9	99.0	23,627
196期(2018年8月15日)	7,306		13	△0.8	98.5	23,127
197期(2018年9月18日)	7,293		13	0.0	98.4	22,827
198期(2018年10月15日)	7,236		13	△0.6	98.8	22,436
199期(2018年11月15日)	7,331		13	1.5	98.6	22,529
200期(2018年12月17日)	7,386		13	0.9	98.6	22,428
201期(2019年1月15日)	7,113		13	△3.5	98.3	21,580
202期(2019年2月15日)	7,260		13	2.2	98.8	21,863
203期(2019年3月15日)	7,364		13	1.6	98.4	21,971
204期(2019年4月15日)	7,390		13	0.5	98.7	21,743
205期(2019年5月15日)	7,264		13	△1.5	98.3	21,117
206期(2019年6月17日)	7,261		13	0.1	98.5	20,976
207期(2019年7月16日)	7,229		13	△0.3	98.6	20,792
208期(2019年8月15日)	7,136		13	△1.1	98.8	20,433
209期(2019年9月17日)	7,290		13	2.3	98.6	20,743
210期(2019年10月15日)	7,313		13	0.5	98.8	20,720
211期(2019年11月15日)	7,307		13	0.1	99.0	20,167
212期(2019年12月16日)	7,343		13	0.7	98.9	19,897
213期(2020年1月15日)	7,383		13	0.7	98.9	19,888
214期(2020年2月17日)	7,385		13	0.2	98.7	19,646
215期(2020年3月16日)	7,189		13	△2.5	98.5	19,087

(注) 基準価額(1万円当たり)の期中騰落率は分配金込みです。

(注) ファンドは、「フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド」(以下「マザーファンド」)の受益証券を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) マザーファンドを通じて投資をする投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

○当作成期中の基準価額の推移

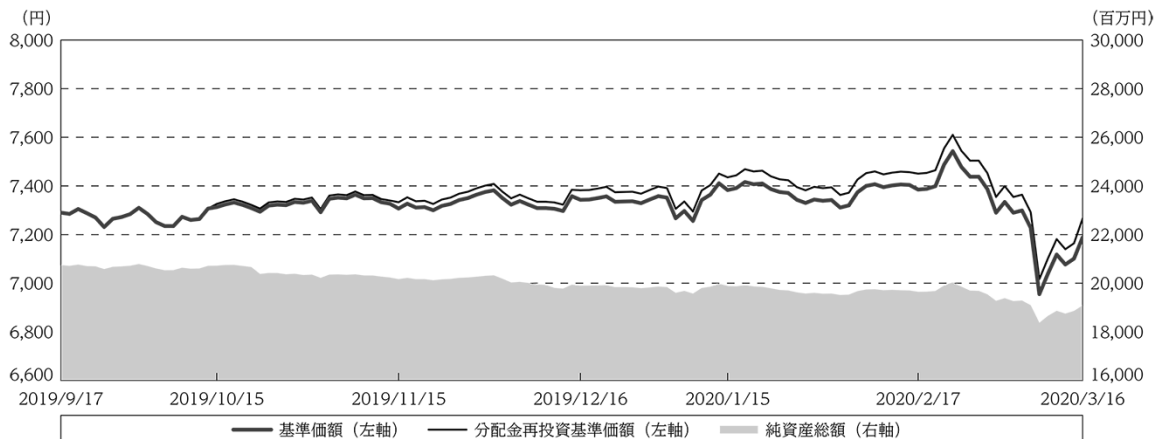
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第210期	(期 首) 2019年9月17日	円		%	
		7,290		—	98.6
	9月末	7,284		△0.1	98.7
第211期	(期 末) 2019年10月15日	7,326		0.5	98.8
	(期 首) 2019年10月15日	7,313		—	98.8
	10月末	7,339		0.4	98.8
第212期	(期 末) 2019年11月15日	7,320		0.1	99.0
	(期 首) 2019年11月15日	7,307		—	99.0
	11月末	7,375		0.9	98.7
第213期	(期 末) 2019年12月16日	7,356		0.7	98.9
	(期 首) 2019年12月16日	7,343		—	98.9
	12月末	7,352		0.1	98.7
第214期	(期 末) 2020年1月15日	7,396		0.7	98.9
	(期 首) 2020年1月15日	7,383		—	98.9
	1月末	7,342		△0.6	98.8
第215期	(期 末) 2020年2月17日	7,398		0.2	98.7
	(期 首) 2020年2月17日	7,385		—	98.7
	2月末	7,387		0.0	98.7
	(期 末) 2020年3月16日	7,202		△2.5	98.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2019年9月18日～2020年3月16日)

### 作成期間中の基準価額等の推移



第210期首：7,290円

第215期末：7,189円 (既払分配金(税込み):78円)

騰落率：△ 0.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年9月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドがマザーファンドを通じて投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

### ○基準価額の主な変動要因

「フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」)を通じて投資した投資対象ファンドである「フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド(バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U. S. ガバメント・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」の分配金再投資基準価額は値上がりしたものの、米ドルが対円で下落したことなどから、当ファンドの分配金再投資基準価額はやや下落しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。

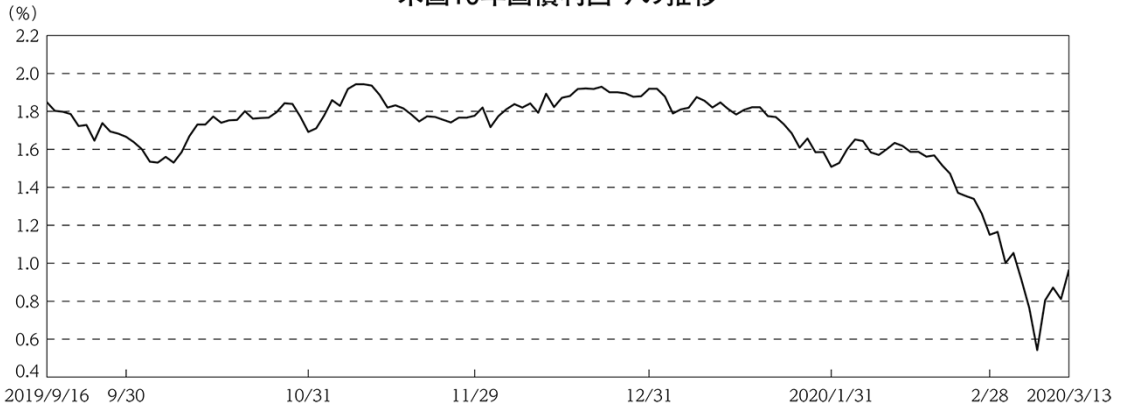
なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券（ジニーメイ・パス・スルー証券等）からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券（ジニーメイ・パス・スルー証券等）の価格変動

## 投資環境

(米国債券市場とジニーメイ・パス・スルー証券市場)

### 米国10年国債利回りの推移



※出所：Bloomberg 米国10年国債利回りは、当作成期首の前営業日から期末の前営業日の期間（現地日付ベース）のものです。

米国債券市場では、米国10年国債利回りは当作成期首の1.8%台から0.9%台まで低下（価格は上昇）して当作成期末を迎えました。

当作成期首から2019年12月末にかけては、経済指標の発表や米中間の貿易交渉を巡る期待や懸念などが交錯し、米国10年国債利回りはもみ合う展開となりました。9月および10月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）では、それぞれ0.25%の利下げが実施されました。しかし、2020年に入って中国で新型コロナウイルスの感染が拡大し、その後徐々に世界各国へと広まる中、市場では世界経済の減速が懸念され、投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどを背景に安全資産とみられる債券への資金移動がかつてない水準で見られました。これを受け、米国10年国債利回りは急速に低下し、利回りは0.9%台で当作成期末を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大に対し、3月3日に米連邦準備理事会（FRB）は臨時の会合を開いて0.5%の利下げを実施、さらに3月15日にも1%の緊急利下げを実施し、金融政策を実質ゼロ金利政策としました。

当作成期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。住宅ローン金利の主要な指標金利のひとつであるフレディマック30年（固定）金利はやや低下しました。一方、住宅ローンの借り換え指数は期末にかけて大きく上昇しました。

(外国為替市場)

## 為替レート (円/米ドル) の推移



※為替レートは、三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

当作成期、米ドルの対円相場は当作成期首の1米ドル108円台前半から106円台後半へと円高ドル安となりました。

当作成期首から2019年12月末にかけては、経済指標の発表や米中間の貿易交渉を巡る期待や懸念などが交錯し、1米ドル=106円台から109円台でのレンジ内でもみ合う展開が継続していましたが、2020年1月に米中通商協議に関する第一段階の合意文書への署名が行われたことに加え、米財務省が中国の為替操作国認定を解除したことなどを背景に、1米ドル=110円台まで円安ドル高が進む局面も見られました。1月下旬に、中国で発生した新型コロナウイルスの同国経済への悪影響に対する懸念が高まり、1米ドル=108円台半ばまで円高ドル安となりました。

2月に入ると、発表された1月の米供給管理協会 (ISM) 製造業指数が改善を示したことや中国当局による大規模な流動性供給への期待などを背景に一時1米ドル=112円台までドル高円安が進む局面もありましたが、2月最終週以降は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念が高まる中、世界的な株安とともにリスク回避の動きが強まったことに加え、3月にはFRBが緊急の利下げを実施したことなどをを受けて大きくドル安が進行しました。結局米ドルの対円相場は当作成期首よりも円高ドル安の1米ドル106円台後半で当作成期を終えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

### (フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

運用の基本方針にもとづき、フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行いました。

当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当作成期末における組入比率は98.9%となりました。マザーファンドにおける当作成期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が71.5%、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が28.1%、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」が0%となりました。

### (フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム\*の違いによる証券価格形成に着目した投資では、当作成期はジニーメイⅡの組入比率がジニーメイⅠの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%のクーポン\*\*を持つ証券の比率が最も大きく、当運用期間においては3.0%のクーポンを持つ証券に追加投資を行いました。

\*証券化プログラムとは、住宅ローン条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

\*\*クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

## 分配金

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。  
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	13 0.177%	13 0.178%	13 0.177%	13 0.176%	13 0.176%	13 0.181%
当期の収益	13	10	13	13	11	11
当期の収益以外	—	2	—	—	1	1
翌期繰越分配対象額	812	810	811	813	812	810

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## ○今後の運用方針

### (フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。米国における外国人投資家への税制優遇措置継続の確認がとれたことに伴い、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への配分は分配金水準や資金フローなどを総合的に勘案して判断する予定です。なお、今後も金融制度、税制等の動向を注視してまいります。

### (フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2020年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ0.89%、1.13%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは1.70%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響から、中国では1-3月期に大幅なマイナス成長が見込まれます。問題は、そのマイナス成長がその後も続くのか、あるいは翌四半期にはプラス成長となるかです。サプライチェーンの多くが中国と密接に結びついているため、中国の1-3月期における急速な景気減速（それでもなお前年比でプラス成長になることが予想されます。）だけでなく、中国と関係のある多くの国でも経済成長の鈍化が見込まれます。

新型コロナウイルスを発端とするショックに対処する目的で、FRBは3月15日に大規模かつ様々な緩和策を打ち出しました。運用チームでは、今回の金融政策および現在検討されている財政政策により、新型コロナウイルスの問題が収束した後は、非常に力強い経済回復が見られるものと考えています。現時点では、先行きに対する不透明感から市場の変動性も極めて高い状態となっていますが、足元のFRBや政府による発言から、当局は今回の問題を十分に認識し、全力で対応するものと予想します。

ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月18日～2020年3月16日)

項 目	第210期～第215期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	28	0.381	(a) 信託報酬 = [作成期間の平均基準価額] × 信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(10)	(0.141)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(16)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用 = $\frac{\text{〔作成期間のその他費用〕}}{\text{〔作成期間の平均受益権口数〕}}$
( 保 管 費 用 )	( 0 )	(0.000)	その他費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
			・ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	28	0.384	
作成期間の平均基準価額は、7,346円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。各項目の費用は、マザーファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要<ご参考>」に表示しております。

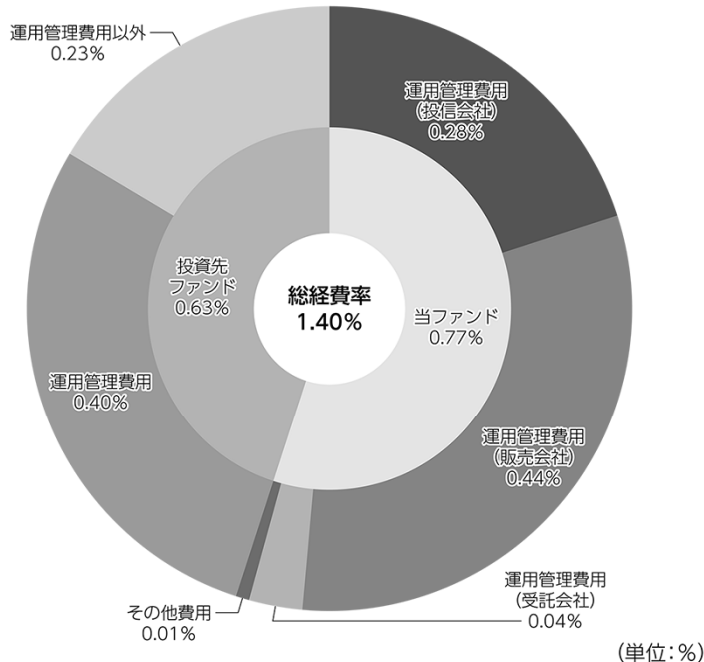
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.40%です。



総経費率(①+②+③)	1.40
①当ファンドの費用の比率	0.77
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.23

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組入れている投資信託証券です。  
 (注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○売買及び取引の状況

(2019年9月18日～2020年3月16日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第210期～第215期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
フランクリン・テンプレトン	米国政府証券マザーファンド	—	—	1,079,264	1,690,592

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年9月18日～2020年3月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年9月18日～2020年3月16日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2020年3月16日現在)

### 親投資信託残高

銘	柄	第209期末	第215期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
フランクリン・テンプレトン	米国政府証券マザーファンド	13,280,069	12,200,804	18,872,204

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年3月16日現在)

項 目	第215期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	18,872,204	98.5
コール・ローン等、その他	278,055	1.5
投資信託財産総額	19,150,259	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当作成期末におけるフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンドの外貨建純資産 (18,871,630千円) の投資信託財産総額 (18,885,560千円) に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産の評価額は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=106.91円)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第210期末	第211期末	第212期末	第213期末	第214期末	第215期末
	2019年10月15日現在	2019年11月15日現在	2019年12月16日現在	2020年1月15日現在	2020年2月17日現在	2020年3月16日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	20,795,877,432	20,248,589,120	19,957,416,380	19,962,045,571	19,730,068,255	19,150,259,499
コール・ローン等	260,194,412	224,821,674	220,251,230	232,964,218	168,788,032	278,054,678
フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド(併録)	20,535,683,020	20,023,767,446	19,737,165,150	19,729,081,353	19,451,405,223	18,872,204,821
未収入金	—	—	—	—	109,875,000	—
(B) 負債	75,057,723	81,015,240	59,885,239	73,683,676	83,456,464	62,577,991
未払収益分配金	36,833,314	35,881,806	35,225,746	35,017,512	34,586,070	34,518,583
未払解約金	26,056,662	31,704,605	11,441,754	26,050,391	35,074,459	16,553,790
未払信託報酬	12,071,781	13,324,357	13,114,165	12,516,688	13,687,778	11,415,675
未払利息	604	—	600	680	483	—
その他未払費用	95,362	104,472	102,974	98,405	107,674	89,943
(C) 純資産総額(A-B)	20,720,819,709	20,167,573,880	19,897,531,141	19,888,361,895	19,646,611,791	19,087,681,508
元本	28,333,318,679	27,601,389,347	27,096,728,416	26,936,548,370	26,604,669,711	26,552,756,510
次期繰越損益金	△ 7,612,498,970	△ 7,433,815,467	△ 7,199,197,275	△ 7,048,186,475	△ 6,958,057,920	△ 7,465,075,002
(D) 受益権総口数	28,333,318,679口	27,601,389,347口	27,096,728,416口	26,936,548,370口	26,604,669,711口	26,552,756,510口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,313円	7,307円	7,343円	7,383円	7,385円	7,189円

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○損益の状況

項 目	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
	2019年9月18日～ 2019年10月15日	2019年10月16日～ 2019年11月15日	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月16日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 16,044	△ 14,823	△ 12,537	△ 13,808	△ 17,969	△ 14,680
受取利息	21	-	-	-	-	-
支払利息	△ 16,065	△ 14,823	△ 12,537	△ 13,808	△ 17,969	△ 14,680
(B) 有価証券売買損益	115,140,326	31,370,905	146,797,999	156,167,034	51,862,257	△ 467,173,768
売買益	115,401,311	32,085,126	148,370,223	156,374,451	52,327,620	3,778,309
売買損	△ 260,985	△ 714,221	△ 1,572,224	△ 207,417	△ 465,363	△ 470,952,077
(C) 信託報酬等	△ 12,167,143	△ 13,428,829	△ 13,220,217	△ 12,615,093	△ 13,795,452	△ 11,505,618
(D) 当期損益金 (A + B + C)	102,957,139	17,927,253	133,565,245	143,538,133	38,048,836	△ 478,694,066
(E) 前期繰越損益金	△1,540,810,042	△1,435,339,881	△1,422,201,870	△1,314,063,082	△1,188,344,370	△1,172,720,986
(F) 追加信託差損益金	△6,137,812,753	△5,980,521,033	△5,875,334,904	△5,842,644,014	△5,773,176,316	△5,779,141,367
(配当等相当額)	( 469,895,575)	( 459,366,776)	( 456,520,250)	( 456,476,526)	( 454,241,862)	( 467,608,592)
(売買損益相当額)	(△6,607,708,328)	(△6,439,887,809)	(△6,331,855,154)	(△6,299,120,540)	(△6,227,418,178)	(△6,246,749,959)
(G) 計 (D + E + F)	△7,575,665,656	△7,397,933,661	△7,163,971,529	△7,013,168,963	△6,923,471,850	△7,430,556,419
(H) 収益分配金	△ 36,833,314	△ 35,881,806	△ 35,225,746	△ 35,017,512	△ 34,586,070	△ 34,518,583
次期繰越損益金 (G + H)	△7,612,498,970	△7,433,815,467	△7,199,197,275	△7,048,186,475	△6,958,057,920	△7,465,075,002
追加信託差損益金	△6,137,812,753	△5,980,521,033	△5,875,334,904	△5,842,644,014	△5,773,176,316	△5,779,141,367
(配当等相当額)	( 469,951,978)	( 459,390,110)	( 456,576,864)	( 456,491,235)	( 454,308,700)	( 467,940,728)
(売買損益相当額)	(△6,607,764,731)	(△6,439,911,143)	(△6,331,911,768)	(△6,299,135,249)	(△6,227,485,016)	(△6,247,082,095)
分配準備積立金	1,832,762,422	1,777,620,527	1,743,530,945	1,735,046,258	1,706,815,345	1,685,361,873
繰越損益金	△3,307,448,639	△3,230,914,961	△3,067,393,316	△2,940,588,719	△2,891,696,949	△3,371,295,508

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 当ファンドの第210期首元本額は28,454,432,457円、第210～215期中追加設定元本額は533,421,408円、第210～215期中一部解約元本額は2,435,097,355円です。
- (2) 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は7,465,075,002円です。
- (3) 1口当たり純資産額は、第210期0.7313円、第211期0.7307円、第212期0.7343円、第213期0.7383円、第214期0.7385円、第215期0.7189円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

(1) 第210期 (自2019年9月18日 至2019年10月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (40,739,457円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (469,951,978円) および分配準備積立金 (1,828,856,279円) より分配対象収益は2,339,547,714円 (1万口当たり825円) であり、うち36,833,314円 (1万口当たり13円) を分配金額としております。

(2) 第211期 (自2019年10月16日 至2019年11月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (29,640,136円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (459,390,110円) および分配準備積立金 (1,739,589,152円) より分配対象収益は2,272,892,443円 (1万口当たり823円) であり、うち35,881,806円 (1万口当たり13円) を分配金額としております。

(3) 第212期 (自2019年11月16日 至2019年12月16日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (39,167,539円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (456,576,864円) および分配準備積立金 (1,739,589,152円) より分配対象収益は2,235,333,555円 (1万口当たり824円) であり、うち35,225,746円 (1万口当たり13円) を分配金額としております。

(4) 第213期 (自2019年12月17日 至2020年1月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (39,438,521円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (456,491,235円) および分配準備積立金 (1,730,625,249円) より分配対象収益は2,226,555,005円 (1万口当たり826円) であり、うち35,017,512円 (1万口当たり13円) を分配金額としております。

(5) 第214期 (自2020年1月16日 至2020年2月17日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (31,107,082円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (454,308,700円) および分配準備積立金 (1,710,294,333円) より分配対象収益は2,195,710,115円 (1万口当たり825円) であり、うち34,586,070円 (1万口当たり13円) を分配金額としております。

(6) 第215期 (自2020年2月18日 至2020年3月16日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (30,582,417円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (467,940,728円) および分配準備積立金 (1,689,298,039円) より分配対象収益は2,187,821,184円 (1万口当たり823円) であり、うち34,518,583円 (1万口当たり13円) を分配金額としております。

## 〇分配金のお知らせ

	第210期	第211期	第212期	第213期	第214期	第215期
1万口当たり分配金 (税込み)	13円	13円	13円	13円	13円	13円

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金) となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド

《第18期》

決算日：2020年3月16日

(計算期間：2019年3月16日～2020年3月16日)

## 《運用報告書》

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うことを基本方針とします。 主として米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
主要投資対象	主として「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。



## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 期騰落	中率	投資信託 組入比	証券率	フランクリン・U.S.ガバメント・ セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)組入比率	フランクリン・テンプレートン・ インベストメント・ファンズ・ フランクリン・U.S.ガバメント・ファンド (ルクセンブルグ籍投資法人)組入比率	フランクリン・テンプレートンU.S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド (バミューダ籍投資法人)組入比率	純資産 総額
					%	%	%	
14期(2016年3月15日)	円	△4.7	%	%	—	39.7	60.1	百万円 31,684
15期(2017年3月15日)	15,261	0.4	%	%	—	36.5	63.2	27,325
16期(2018年3月15日)	15,318	△7.4	%	%	—	29.8	69.9	22,884
17期(2019年3月15日)	14,187	8.5	%	%	—	29.7	70.0	21,689
18期(2020年3月16日)	15,388	0.5	99.6	%	—	—	—	18,871

(注) 当ファンドの投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

(注) 第18期より、組入比率の記載について、ファンド別の記載から、資産別の記載に変更しております。

## ○当期中の基準価額の推移

年	月	日	基準	価額		投資信託 組入比	証券率
				騰	落		
	(期首)		円	%	%	%	%
	2019年	3月15日	15,388	—	—	99.7	99.7
	3月末		15,383	△0.0	—	99.7	99.7
	4月末		15,475	0.6	—	99.7	99.7
	5月末		15,275	△0.7	—	99.7	99.7
	6月末		15,228	△1.0	—	99.7	99.7
	7月末		15,395	0.0	—	99.7	99.7
	8月末		15,254	△0.9	—	99.7	99.7
	9月末		15,450	0.4	—	99.7	99.7
	10月末		15,605	1.4	—	99.7	99.7
	11月末		15,720	2.2	—	99.7	99.7
	12月末		15,709	2.1	—	99.7	99.7
	2020年	1月未	15,728	2.2	—	99.7	99.7
	2月末		15,861	3.1	—	99.6	99.6
	(期末)						
	2020年	3月16日	15,468	0.5	—	99.6	99.6

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2019年3月16日～2020年3月16日)

### 期中の基準価額等の推移



### ○基準価額の主な変動要因

投資対象ファンドである「フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ - フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」の分配金再投資基準価額が値上がりしたことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。詳しくは後掲の「投資環境」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券 (ジニーメイ・パス・スルー証券等) からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券 (ジニーメイ・パス・スルー証券等) の価格変動

## 投資環境

(米国債券市場とジニーメイ・パス・スルー証券市場)



※出所：Bloomberg 米国10年国債利回りは、当期首の前営業日から期末の前営業日の期間（現地日付ベース）のものです。

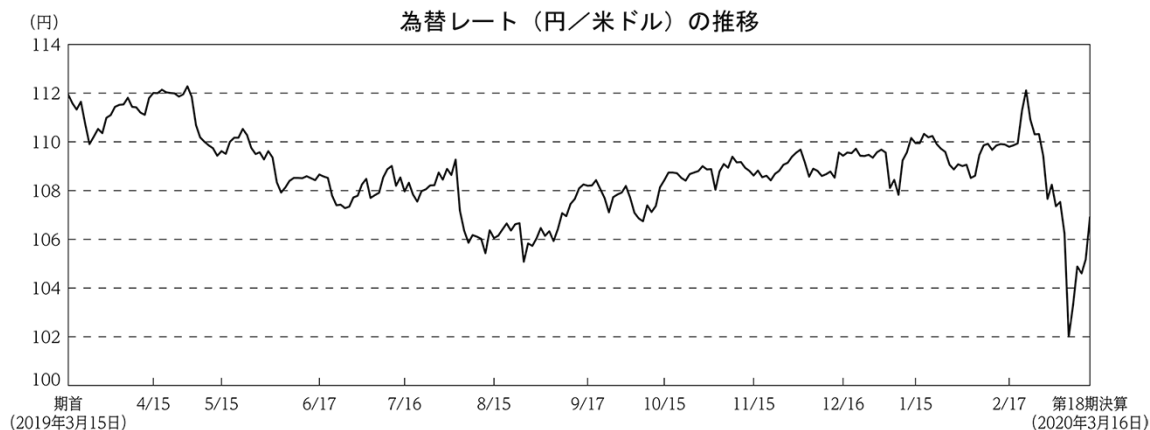
米国債券市場では、米国10年国債利回りは期首の2.6%近辺から0.9%台まで低下（価格は上昇）して当期末を迎えました。

米国10年国債利回りは、2019年4月には、好調な経済指標等を受けて米国株式市場が堅調に推移したことなどから利回りは2.5%近辺での推移となっていました。5月から7月にかけては、米中間の貿易摩擦激化を受けた世界経済減速懸念や、米連邦準備理事会（FRB）の年内利下げ観測の高まり等を受けて低下基調となりました。8月初めには、米国が中国製品への制裁関税「第4弾」を発表したことなどをうけ、米中貿易摩擦激化への懸念が再燃し、利回りが大きく下がりました。9月から12月末にかけては、発表された経済指標や米中間の貿易交渉を巡る期待や懸念などを受け、米国の10年国債利回りはもみ合う展開となりました。9月および10月に開催された米連邦公開市場委員会（FOMC）では、それぞれ0.25%の利下げが実施されました。2020年に入って中国で新型コロナウイルスの感染が拡大し、その後徐々に世界各国へと広まる中、市場では世界経済の減速が懸念され、投資家がリスク回避姿勢を強めたことなどを背景に安全資産とみられる債券への資金移動がかつてない水準で見られました。これを受け、米国10年国債利回りは急速に低下し、利回りは0.9%台で当期末を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大に対し、3月3日にFRBは臨時の会合を開いて0.5%の利下げを実施、さらに3月15日にも1%の緊急利下げを実施し、金融政策を実質ゼロ金利政策としました。

当期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）の平均値は、2019年3月の4.2%台後半から2020年3月には3.3%台後半まで低下しました。一方、住宅ローンの借り換え指数は期末にかけて大きく上昇しました。

# FRANKLIN TEMPLETON®

(外国為替市場)



※為替レートは、三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

当期、米ドルの対円相場は期首の1米ドル111円台半ばから106円台後半へと円高ドル安となりました。

期首から2019年4月にかけてのドル円相場は、堅調な米国の経済指標や英国の欧州連合（EU）離脱期限が延長されたことなどをを受け、リスク回避姿勢が後退したことから円に対してドル買いが優勢となり、1米ドル112円台前半まで円安ドル高が進みました。

5月以降、米中を中心とする貿易摩擦動向に対する見通しや、世界経済減速に対する懸念などからじりじりと円高ドル安へと向かう中、7月末のFOMCでFRBが政策金利の誘導目標を0.25%引き下げ、約10年ぶりの利下げに踏み切ったことや、8月初めのトランプ米大統領による中国製品を対象とした制裁関税の第4弾の表明など、米中貿易摩擦激化への懸念などからリスク回避的な円買いドル売りが優勢となり、ドル円相場は一時1米ドル=104円台まで下落しました。

その後は、発表された経済指標や米中間の貿易交渉を巡る期待や懸念などをを受け、1米ドル=106円台から109円台でのレンジ内でもみ合う展開が継続していましたが、2020年1月に米中通商協議に関する第一段階の合意文書への署名が行われたことに加え、米財務省が中国の為替操作国認定を解除したことなどを背景に、1米ドル=110円台まで円安ドル高が進む局面も見られました。1月下旬に、中国で発生した新型コロナウイルスの同国経済への悪影響に対する懸念が高まり、1米ドル=108円台半ばまで円高ドル安となりました。

2月に入ると、発表された1月の米供給管理協会（ISM）製造業指数が改善を示したことや中国当局による大規模な流動性供給への期待などを背景に一時1米ドル=112円台までドル高円安が進む局面もありましたが、2月最終週以降は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大懸念が高まるなか、世界的な株安とともにリスク回避の動きが強まったことに加え、3月にはFRBが緊急の利下げを実施したことなどをを受けて大きくドル安が進行しました。結局米ドルの対円相場は期首よりも円高ドル安の1米ドル106円台後半で当期を終えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

### (フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド)

マザーファンドにおける当期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が71.5%、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ - フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が28.1%、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」が0%となりました。

### (フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当期も、独自の分析手法を用いて証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム\*の違いによる証券価格形成に着目した投資では、当期はジニーメイⅡの組入比率がジニーメイⅠの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%のクーポン\*\*を持つ証券の比率が最も大きく、当運用期間においては3.0%のクーポンを持つ証券に追加投資を行いました。

\*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

\*\*クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、ファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○今後の運用方針

### (フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド)

ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、主に「フランクリン・templton U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・templton・インベストメント・ファンズ - フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。米国における外国人投資家への税制優遇措置継続の確認がとれたことに伴い、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への配分は分配金水準や資金フローなどを勘案して再開する予定です。なお、今後も金融制度、税制等の動向を注視してまいります。

また、投資対象ファンド全体の組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わないことを原則とします。

### (フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2020年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ0.89%、1.13%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは1.70%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響からは、中国では1-3月期に大幅なマイナス成長が見込まれます。問題は、そのマイナス成長がその後も続くのか、あるいは翌四半期にはプラス成長となるかです。サプライチェーンの多くが中国と密接に結びついているため、中国の1-3月期における急速な景気減速（それでもなお前期比でプラス成長になることが予想されます。）だけでなく、中国と関係のある多くの国でも経済成長の鈍化が見込まれます。

新型コロナウイルスを発端とするショックに対処する目的で、FRBは3月15日に大規模かつ様々な緩和策を打ち出しました。運用チームでは、今回の金融政策および現在検討されている財政政策により、新型コロナウイルスの問題が収束した後は、非常に力強い経済回復が見られるものと考えています。現時点では、先行きに対する不透明感から市場の変動性も極めて高い状態となっていますが、足元のFRBや政府による発言から、当局は今回の問題を十分に認識し、全力で対応するものと予想します。

ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値とのかい離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年3月16日～2020年3月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$ その他費用 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、15,506円です。			

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要<ご参考>」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月16日～2020年3月16日)

### 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	バミューダ フランクリン・テンプレトン U.S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	千口	千ドル	千口	千ドル
	ルクセンブルク フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファズ-フランクリン U.S. ガバメント・ファンド	357	3,406	1,715	16,300
	小計	177	1,685	1,116	10,600
小計		535	5,091	2,831	26,900

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月16日～2020年3月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年3月16日～2020年3月16日)

該当事項はございません。



○組入資産の明細

(2020年3月16日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(バミューダ)	千口	千口	千ドル	千円	%	
フランクリン・テンプレートン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	14,536	13,179	126,255	13,497,949	71.5	
(ルクセンブルク)						
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズ-フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	6,163	5,225	49,641	5,307,119	28.1	
合 計	口 数 ・ 金 額	20,700	18,404	175,896	18,805,069	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	< 99.6% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=106.91円)

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2020年3月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 18,805,069	% 99.6
コール・ローン等、その他	80,491	0.4
投資信託財産総額	18,885,560	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産(18,871,630千円)の投資信託財産総額(18,885,560千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=106.91円)

# FRANKLIN TEMPLETON®

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月16日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	18,885,560,053	
コール・ローン等	66,561,094	
投資証券(評価額)	18,805,069,092	
未収配当金	13,929,867	
(B) 負債	13,929,867	
未払金	13,929,867	
(C) 純資産総額(A-B)	18,871,630,186	
元本	12,200,804,772	
次期繰越損益金	6,670,825,414	
(D) 受益権総口数	12,200,804,772口	
1万口当たり基準価額(C/D)	15,468円	

## ○損益の状況 (2019年3月16日～2020年3月16日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	545,232,256	
受取配当金	545,232,256	
(B) 有価証券売買損益	△ 419,024,814	
売買益	488,971,976	
売買損	△ 907,996,790	
(C) 保管費用等	△ 79,113	
(D) 当期損益金(A+B+C)	126,128,329	
(E) 前期繰越損益金	7,594,443,045	
(F) 解約差損益金	△1,049,745,960	
(G) 計(D+E+F)	6,670,825,414	
次期繰越損益金(G)	6,670,825,414	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

### <注記事項>

(貸借対照表関係)

(1) 期首元本額は14,094,944,312円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は1,894,139,540円です。

(2) 当ファンドの期末元本額 12,200,804,772円

元本の内訳

フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド 12,200,804,772円

(3) 期末における1口当たり純資産額は1.5468円です。

## フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズー フランクリン U. S. ガバメント・ファンドの運用状況について

2019年6月30日決算

(計算期間：2018年7月1日～2019年6月30日)

フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンドは、フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2019年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ルクセンブルク籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て <sup>注1</sup>
投資目的	金利収入と元本の安全性の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	主として米国政府および米国政府機関が発行あるいは保証する証券に投資を行うことにより、投資目的を達成することを企図しています。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理会社：フランクリン・テンプレートン・インターナショナル・サービシーズ・エス・エー・アール・エル 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー
費用 <sup>注2</sup>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40% 管理会社報酬：年0.20%以内 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 当ファンドのマザーファンドは、フランクリン U. S. ガバメント・ファンドのClass I(Mdis)（米ドル建て）に投資します。

(注2) 当ファンドのマザーファンドが投資を行うClass I(Mdis)のものです。

この他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

# FRANKLIN TEMPLETON®

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー  
フランクリン U.S. ガバメント・ファンド  
損益および純資産変動計算書  
2019年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

<b>期首純資産</b>	<b>625,792,030</b>
<b>収益</b>	
債券利息（税引後）	22,305,020
預金利息	73,655
その他収益	659
<b>収益合計</b>	<b>22,379,334</b>
<b>費用</b>	
運用報酬	3,901,536
管理会社報酬	1,509,781
保管銀行報酬	26,142
監査費用	13,010
その他費用	2,510,599
<b>費用合計</b>	<b>7,961,068</b>
関係法人からの費用戻入	(82,815)
<b>純費用合計</b>	<b>7,878,253</b>
<b>投資純収益</b>	<b>14,501,081</b>
投資有価証券売買に係る実現純利益	296,220
外国為替先渡契約に係る実現純損失	(667,449)
モーゲージダラーロールに係る実現純利益	162,721
外国為替取引に係る実現純利益	1,900
<b>当期実現利益</b>	<b>14,294,473</b>

投資未実現評価益	16,424,070
外国為替先渡契約未実現評価益	313,501
モーゲージダラーロールに係る未実現評価損	(5,578)
外国為替取引未実現評価益	555
	<hr/>
<b>運用による純資産の増加額</b>	<b>31,027,021</b>
<b>元本異動等</b>	
追加設定額	422,539,205
解約額	(315,592,295)
追加設定・一部解約時の収益調整	264,178
	<hr/>
	107,211,088
分配金額	(21,976,602)
	<hr/>
<b>元本異動による純資産の増加額</b>	<b>85,234,486</b>
<b>期末純資産</b>	<b>742,053,537</b>
	<hr/> <hr/>

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 組入資産の明細

2019年6月30日現在

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券					
公社債					
アセットバック証券					
183,199,218	GNMA II, SF, 3.50%, 09/20/47 - 03/20/49	USA	USD	189,366,117	25.54
92,674,024	GNMA II, SF, 3.00%, 03/20/46 - 04/20/49	USA	USD	94,806,706	12.79
65,371,786	GNMA II, SF, 4.00%, 05/20/40 - 05/20/49	USA	USD	68,600,538	9.24
49,553,625	GNMA, SF, 5.00%, 07/15/33 - 08/15/40	USA	USD	54,221,317	7.31
47,470,066	GNMA, SF, 4.00%, 10/15/40 - 08/15/46	USA	USD	50,395,601	6.79
44,294,652	GNMA II, SF, 4.50%, 05/20/33 - 10/20/44	USA	USD	47,212,853	6.36
37,334,564	GNMA II, SF, 3.50%, 08/20/42 - 06/20/43	USA	USD	38,945,868	5.25
27,531,851	GNMA, SF, 4.50%, 03/15/39 - 04/15/41	USA	USD	29,703,160	4.00
19,467,170	GNMA, SF, 6.00%, 10/15/23 - 01/15/38	USA	USD	21,941,412	2.96
18,304,009	GNMA, SF, 5.50%, 12/15/28 - 11/15/39	USA	USD	20,336,918	2.74
11,892,516	GNMA II, SF, 5.00%, 10/20/32 - 02/20/41	USA	USD	12,857,359	1.73
10,790,435	GNMA II, SF, 5.50%, 05/20/34 - 01/20/36	USA	USD	11,848,523	1.60
9,120,438	GNMA II, SF, 6.00%, 06/20/34 - 07/20/39	USA	USD	10,424,211	1.40
8,647,133	GNMA, SF, 6.50%, 11/15/23 - 07/15/38	USA	USD	9,792,154	1.32
4,489,272	GNMA, 3.50%, 04/20/48	USA	USD	4,639,206	0.63
3,556,671	GNMA II, SF, 6.50%, 03/20/27 - 10/20/38	USA	USD	4,135,672	0.56
3,138,171	GNMA, SF, 7.00%, 03/15/22 - 09/15/32	USA	USD	3,394,023	0.46
2,749,816	GNMA, SF, 3.50%, 04/15/43 - 05/15/43	USA	USD	2,854,513	0.38
1,911,124	GNMA II, SF, 7.00%, 05/20/26 - 03/20/33	USA	USD	2,241,618	0.30
1,215,139	GNMA, SF, 7.50%, 03/15/22 - 08/15/33	USA	USD	1,367,037	0.18
917,763	GNMA II, SF, 7.50%, 08/20/22 - 09/20/32	USA	USD	1,073,674	0.14
792,811	GNMA, SF, 8.00%, 01/15/22 - 12/15/30	USA	USD	842,073	0.11
711,587	GNMA II, 6.00%, 03/20/34	USA	USD	776,902	0.10
404,468	GNMA II, SF, 8.00%, 06/20/22 - 07/20/31	USA	USD	457,273	0.06
392,574	GNMA II, 6.50%, 04/20/34	USA	USD	429,526	0.06
181,677	GNMA, SF, 9.00%, 01/15/25 - 03/15/25	USA	USD	200,741	0.03
94,662	GNMA II, SF, 8.50%, 11/20/21 - 05/20/29	USA	USD	107,981	0.01
87,835	GNMA, SF, 8.50%, 05/15/21 - 06/15/28	USA	USD	94,440	0.01
73,951	GNMA, 7.50%, 04/15/31	USA	USD	76,692	0.01
37,370	GNMA, 8.00%, 01/15/31	USA	USD	37,775	0.01
18,551	GNMA, SF, 9.50%, 07/15/20 - 06/15/25	USA	USD	18,607	0.00
12,677	GNMA II, 8.00%, 03/20/27	USA	USD	13,947	0.00
5,921	GNMA, 6.00%, 11/15/28	USA	USD	6,480	0.00

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
6,033	GNMA II, SF, 9.50%, 11/20/20 - 07/20/25	USA	USD	6,060	0.00
4,611	GNMA, SF, 10.00%, 11/15/20 - 03/15/25	USA	USD	4,628	0.00
983	GNMA I, 9.50%, 08/15/21 - 11/15/21	USA	USD	1,007	0.00
48	GNMA, SF, 10.50%, 12/15/20 - 04/15/25	USA	USD	48	0.00
2	GNMA, SF, 11.00%, 04/15/21	USA	USD	2	0.00
				683,232,662	92.08
国債証券及び地方債証券					
6,315,000	U. S. Treasury Note, 2.375%, 05/15/27	USA	USD	6,525,788	0.88
1,800,000	U. S. Treasury Bond, 4.75%, 02/15/37	USA	USD	2,463,434	0.33
				8,989,222	1.21
1年以内に償還する証券					
3,525	GNMA II, SF, 9.50%, 04/20/20	USA	USD	3,547	0.00
1,861	GNMA, SF, 7.80%, 02/15/20	USA	USD	1,863	0.00
673	GNMA, SF, 9.50%, 05/15/20	USA	USD	675	0.00
503	GNMA, SF, 8.50%, 09/15/19 - 04/15/20	USA	USD	503	0.00
406	GNMA, SF, 9.00%, 12/15/19 - 06/15/20	USA	USD	408	0.00
222	GNMA, SF, 8.00%, 02/15/20	USA	USD	222	0.00
				7,218	0.00
公社債計				692,229,102	93.29
小計				692,229,102	93.29
合計				692,229,102	93.29

## フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンドの運用状況について

2019年9月30日決算

(計算期間：2018年10月1日～2019年9月30日)

フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンドはフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年9月末）です。したがって、直前の計算期末である2019年9月30日時点までの運用状況をお知らせします。

### ●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	バミューダ籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て
投資目的	金利収入の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	純資産総額の少なくとも80%を米国政府証券に投資を行います。現在、実質的にその資産のすべてを米国ジニーメイ・パス・スルー証券に投資しています。 また、米国政府の十分な信頼性と信用に裏付けられたその他の米国政府の証券（例えば、ストリップス債 (treasury strips)、長期国債 (treasury bonds)、中期国債 (treasury notes) など) にも投資することがあります。短期の運用対象には、短期の政府証券や現金が含まれます。また、米国政府発行の証券を担保として利用するレポ取引 (repurchase agreements) を行うことがあります。 *資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理事務代行会社：フランクリン・テンプレトン・サービシズ・エルエルシー 名義書換事務代行会社：フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ（アジア）リミテッド 保管銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン
費用 <sup>注</sup>	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40%以内 管理事務代行報酬：年0.10%以内 名義書換事務代行報酬：年0.05%以内

(注) この他に保管銀行報酬、監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。



フランクリン・テンブルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド  
損益計算書

2019年9月30日に終了した計算期間

(米ドル)

**投資収益**

債券利息	5,480,310
一部償還による損失	(529,556)
<b>投資収益合計</b>	<b>4,950,754</b>

**費用**

運用報酬	540,393
管理事務代行報酬	135,098
名義書換事務代行報酬	67,549
保管銀行報酬	1,061
その他費用	135,343
<b>費用合計</b>	<b>879,444</b>
費用相殺	(1,152)
<b>純費用合計</b>	<b>878,292</b>
<b>投資純収益</b>	<b>4,072,462</b>

投資有価証券に係る実現純利益	333,792
投資有価証券に係る未実現評価益	4,519,598
<b>当期実現及び未実現純利益</b>	<b>4,853,390</b>
<b>運用の結果による純資産の純増加額</b>	<b>8,925,852</b>

# FRANKLIN TEMPLETON®

## 組入資産の明細

2019年9月30日現在

銘柄	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
<b>米国国債および米国機関債 1.7%</b>		
U. S. Treasury Bond, 4.75%, 2/15/37	430,000	616,722
U. S. Treasury Note, 2.375%, 5/15/27	1,520,000	1,601,908
米国国債および米国機関債計 (Cost \$2,100,117)		<u>2,218,630</u>
<b>モーゲージ担保証券 94.6%</b>		
<b>ジニーメイ (米国政府抵当金庫) 固定金利証券 94.6%</b>		
GNMA I SF 30 Year, 4.00%, 10/15/40 – 8/15/46	970,637	1,041,846
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 7/15/39 – 9/15/40	1,105,749	1,202,954
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 9/15/40	149,682	159,568
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 2/15/41	1,341,169	1,460,432
GNMA I SF 30 Year, 4.50%, 4/15/41 – 6/15/41	910,021	999,318
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 4/15/33 – 5/15/33	783,791	869,239
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 5/15/33 – 7/15/33	1,079,243	1,189,565
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 7/15/33 – 8/15/33	675,581	746,801
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33	585,846	649,625
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 8/15/33	808,796	897,259
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33	1,144,556	1,269,444
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 9/15/33 – 11/15/33	926,581	1,019,097
GNMA I SF 30 Year, 5.00%, 12/15/33 – 5/15/34	1,177,949	1,298,410
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 1/15/32 – 2/15/33	1,036,793	1,159,674
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 2/15/33 – 5/15/33	1,149,086	1,275,653
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/33 – 9/15/33	1,202,355	1,319,039
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 10/15/33 – 6/15/34	1,364,306	1,509,988
GNMA I SF 30 Year, 5.50%, 6/15/34	359,678	394,234
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 2/15/24 – 10/15/32	1,210,964	1,373,743
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 12/15/32 – 11/15/33	868,547	979,476
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 12/15/33	571,207	640,478
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 4/15/34	1,569,779	1,801,628
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 4/20/34 – 10/15/34	961,084	1,046,773
GNMA I SF 30 Year, 6.00%, 11/15/34	501,869	562,866
GNMA I SF 30 Year, 6.50%, 12/15/23 – 11/15/34	984,009	1,106,509
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/22 – 2/15/29	1,041,320	1,138,489
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 8/15/29 – 9/15/31	718,630	839,169
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 4/15/32	1,448,253	1,709,286
GNMA I SF 30 Year, 7.00%, 5/15/32	383,327	453,661
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/23 – 1/15/32	255,803	269,917

フランクリン・テンブルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド

銘柄	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/32	1,092,052	1,308,429
GNMA I SF 30 Year, 7.50%, 2/15/32 - 3/15/32	100,509	116,744
GNMA I SF 30 Year, 8.00%, 1/15/22 - 3/15/32	339,307	361,476
GNMA I SF 30 Year, 8.50%, 8/15/21 - 2/15/32	266,664	290,350
GNMA I SF 30 Year, 9.00%, 5/15/20 - 9/15/30	145,789	156,019
GNMA I SF 30 Year, 9.50%, 12/15/21	304	306
GNMA I SF 30 Year, 10.00%, 10/15/21	45	46
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 12/20/42	331,448	343,158
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 1/20/46	2,229,236	2,300,158
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 3/20/46	448,167	462,268
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 7/20/47	1,675,788	1,723,392
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 1/20/48	1,880,303	1,932,992
GNMA II SF 30 Year, 3.00%, 8/20/49	1,726,089	1,773,217
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 4/20/43 - 5/20/43	1,344,978	1,429,013
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 6/20/43	1,334,528	1,417,911
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/43	1,974,425	2,092,092
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 2/20/44	1,694,080	1,783,257
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 9/20/47	6,648,380	6,919,086
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 10/20/47	4,822,060	5,011,757
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 11/20/47	13,625,758	14,160,520
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 1/20/48	3,761,267	3,906,444
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 2/20/49	1,229,087	1,274,297
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 7/20/49	2,530,322	2,623,458
GNMA II SF 30 Year, 3.50%, 8/20/49	5,338,942	5,543,715
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 1/20/41 - 10/20/41	2,327,760	2,481,059
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 11/20/41 - 11/20/48	2,397,655	2,539,962
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 12/20/48	392,346	408,895
GNMA II SF 30 Year, 4.00%, 5/20/49	9,718,650	10,124,715
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 5/20/33 - 7/20/34	1,332,702	1,410,526
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 8/20/34 - 5/20/41	1,156,268	1,241,184
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 6/20/41	1,474,566	1,612,971
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 9/20/41	1,063,163	1,163,875
GNMA II SF 30 Year, 4.50%, 12/20/48	409,856	429,803
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 9/20/33	3,845,224	4,262,318
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 11/20/33	1,285,655	1,422,758
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 12/20/33	546,830	603,403
GNMA II SF 30 Year, 5.00%, 3/20/34	96,764	107,218
GNMA II SF 30 Year, 5.50%, 6/20/34	3,271,331	3,702,906
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 3/20/31 - 4/20/34	1,028,719	1,186,444

# FRANKLIN TEMPLETON®

銘柄	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA II SF 30 Year, 6.00%, 7/20/39	143,559	166,036
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 10/20/25 - 4/20/32	1,017,811	1,183,884
GNMA II SF 30 Year, 6.50%, 8/20/32 - 11/20/33	1,601,320	1,862,192
GNMA II SF 30 Year, 7.00%, 1/20/34	227,302	243,435
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 10/20/23 - 3/20/31	1,101,895	1,300,908
GNMA II SF 30 Year, 7.50%, 4/20/31 - 12/20/32	301,358	350,161
GNMA II SF 30 Year, 8.00%, 9/20/26 - 7/20/31	227,939	257,330
GNMA II SF 30 Year, 8.50%, 11/20/21 - 11/20/31	176,017	201,877
GNMA II SF 30 Year, 9.00%, 11/20/24 - 1/20/27	119,664	128,036
GNMA II SF 30 Year, 9.50%, 5/20/21 - 12/20/21	1,726	1,735
GNMA II SF 30 Year, 10.00%, 9/20/20 - 9/20/21	337	338
モーゲージ担保証券計 (Cost \$120,743,421)		<u>125,708,215</u>
<b>合計 (Cost \$122,843,538) 96.2%</b>		<u>127,926,845</u>



# FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。  
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、  
“With money and financial planning, prudence comes first.”  
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)  
というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、  
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、  
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。  
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、  
ご投資家の皆様にとって、  
フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する  
信頼と安心の象徴となっております。